



社会・環境報告書 2018

Yamanaka
corporate social
responsibility



経営ビジョン

◆ 経営理念

【お客様の支持を高めることがわれわれの生きがいであり、唯一の成長の道である】

◆ ヤマナカ創業精神

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| ■ 利は元にある | ■ 自分に厳しく 人にやさしく |
| ■ 薄利多売 | ■ 地域社会から信頼され役に立つ会社になれ |
| ■ 支出を制して益となせ | ■ 会社を大きくすることにより |
| ■ 苦勞と努力を惜しまず、目利き、腕利き、フロになれ | 従業員やお取引先、お客様に恩返しをせよ |

◆ 企業行動憲章

私たちは"企業行動憲章"の実践を自らの重要な役割として、周知徹底と定着化に努めます。

1. 企業活動の基本姿勢

当社は、経営理念に基づきお客様に満足いただける品質、価値ある商品、安全かつ安心な商品、サービスなどお客様に喜ばれる販売活動を実施することにより地域社会の発展に寄与する。

2. 法令及び社会規範の遵守

当社は、社会から信頼される企業を目指し、法令、社会通念および社内ルールを遵守し、良識ある企業活動を実践する。また、当社は、社会的秩序や企業の健全な活動に悪影響を与える個人・団体とは、一切係わらないこととする。

3. 情報の開示

当社の定める開示ルールに基づき、必要な企業情報を公正かつ適時に開示する。

4. 地球環境への配慮

当社は、企業方針に基づき地球温暖化防止、資源有効利用などの環境問題に真摯に取り組み、地域社会との調和に努め、環境保全と地域社会発展が両立する継続的な活動をおこなうこととする。

5. 従業員の尊重

当社は、従業員の人格及び個性を尊重するとともに、職場環境の整備に取り組み、従業員がその能力を十分に発揮しうる健全な企業環境を確保する。

編集方針

● 編集方針

創業96年目を迎え、地域のお客様から長年ご愛顧賜りました歴史を礎として「お客様支持 No.1店舗」を目標に取り組んでいます。本報告書は、地域環境への取り組み、社会貢献活動、お客様満足のため、また従業員にとっての職場環境改善に向けたヤマナカの取り組みや成果などを報告しています。

● 報告範囲

- ・対象組織／株式会社ヤマナカ 66 店舗および本社
- ・対象期間／基本的には2017年度(2017年3月21日から2018年3月20日)の取り組みを報告していますが一部対象期間外の活動なども記載しています。
- ・対象読者／ヤマナカの各店舗をご利用いただくお客様、株主様、お取引先様、従業員など、当社に係わるすべての皆様を対象としています。

● 作成部署

総務部環境推進室

● 発行月

2018年9月

免責事項

この報告書には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する予想および見通しの記述が含まれています。これらの記述は当社が現時点で把握可能な情報から判断した事項および所信に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものはありません。

会社概要

- 会社名：株式会社ヤマナカ
- 本社所在地：愛知県名古屋市東区葵三丁目 15 番 31 号
- 事業内容：スーパーマーケット事業および小売周辺事業
- 創業：1922 年(大正 11 年) 2 月
- 設立：1957 年(昭和 32 年) 7 月
- 資本金：42 億 2,061 万円
- 代表者：代表取締役社長 中野義久
- 決算月：毎年 3 月 20 日
- 株式：名古屋証券取引所 市場第二部上場
- 売上高：948 億円(2018 年 3 月期連結決算)
- 店舗数：愛知・岐阜・三重県下に 66 店舗
- 社員数：979 名(連結ベース)
- パートタイマー：3,144 名(連結ベース、8 時間換算勤務)
- URL：<http://www.super-yamanaka.co.jp>
- 関連会社：株式会社アイビー(生花販売)
サンデイリー株式会社(日配食品製造)
プレミアムサポート株式会社(店舗設備などの管理メンテナンス、スポーツクラブ運営)
新安城商業開発株式会社(不動産管理)



INDEX

経営ビジョン/編集方針	1
会社概要	2
トップメッセージ	3
トピックス	4
特集：ヤマナカの循環型社会への取り組み	5
笑顔あふれる食品スーパーマーケットを極め、東海地区 No.1 の誇れる企業を目指して	7
お客様に快適なお買物をさせていただくために	9
社会報告 Society	
お客様とともに	10
従業員とともに	11
株主とともに・サプライヤーとともに	13
地域社会とともに	14

環境報告 Environment

環境活動データ	15
省エネルギーの取り組み	16
廃棄物削減・リサイクルの取り組み	18

経営報告 Management

マネジメント	20
グループ会社紹介	22



トップ メッセージ

Top Message



株式会社ヤマナカ 代表取締役社長 甲野義久

このたびは、ヤマナカ社会・環境報告書 2018 をご拝読
いただき、誠にありがとうございます。

ヤマナカは2018年2月に創業96周年を迎えました。
長きにわたりこの地で営業してこれましたのも、ひとえにヤ
マナカをご愛顧いただいているお客様、お取引先様、従業
員、地域の皆様のご支援の賜物と深く感謝しております。

2017年度は食品小売業界におきましては、個人消費は一
部に持ち直しの兆しがみられるものの実質所得が伸び悩む
なか、消費者の節約志向は根強く、消費は力強さに欠ける
展開が続きました。

こうしたなか当社グループは、「経営の質を向上させ持続的
成長を目指す」ことを目標とする中期3カ年計画を推進し、
当該計画の最終年度である2017年度は「カスタマーファ
ースト」を営業方針に掲げ、特に販売力の強化に徹底的に取
り組んでまいりました。

具体的には、当社の強みとする生鮮食品の強化や、昨今の
消費者ニーズに対応した簡便化・健康・おつまみなどをテ
マにした品ぞろえの充実・強化に取り組むとともに、店舗
の生産性向上に向けて、基本作業の徹底・教育による作
業効率の改善やセルフ精算レジの導入によるレジの混雑緩
和とレジ作業の軽減を図ってまいりました。

2017年11月に東海店（愛知県東海市）を建て替えによりリ
ニューアルオープン、また12月には滝ノ水店（名古屋市緑区）
を新設いたしました。新店では照明は店内外すべてをLED
化、また東海店では屋根や外壁材には遮熱性を有する鋼板
を採用、厨房機器関係はオール電化とし、省エネと環境に
配慮いたしました。さらに、東海店と滝ノ水店の開店に際し
て従業員は全員が認知症サポーター養成講座を受講いたし
ました。高齢化が進むなか、地域の皆様と連携してどなたで
も安心してご来店いただけるお店づくりを目指してまい
ります。

ヤマナカが店舗を展開しております東海地域は、豊かな自
然環境に恵まれた、また農林水産物の生産も盛んな地域
です。私たちはこの環境を地域の皆様とともに守っていき、
未来の子供たちに託せるよう、環境に配慮した取り組みの
継続に尽力してまいります。

この報告書を通して地域の皆様と取り組む環境活動をより
深くご理解いただけましたら幸いです。

今後ともより一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い
いたします。

Topics トピックス

■ 創業95周年

2017年2月の創業95周年を機に、日頃の感謝を込めた特別企画を各種実施しました。



■ 滝ノ水店オープン

2017年12月に滝ノ水店(名古屋市緑区)を新設しました。地域のお客様に愛され、喜んでいただけるお店を目指し、便利にお買い回りしていただける店内レイアウト・品ぞろえを追求し、「やっぱりヤマナカ滝ノ水店ね」と言ってもらえる、地域で一番愛されるスーパーマーケットを目指してまいります。



■ 東海店リニューアルオープン

1974年のオープン以来、地域のお客様にご愛顧いただいております「アルテ東海」を、2017年11月に当社の社名を冠した「ヤマナカ東海店」と店名を変更し、リニューアルオープンしました。



特集

ヤマナカの循環型社会への取り組み

食品を調理・加工して販売する小売業にとって、食品廃棄物の排出は避けて通れない問題となります。また、様々な資材を活用して商品の物流・販売を行うことによって、容器や包装の廃棄が発生します。ヤマナカでは、限りある資源を利用して営業活動を行っていることを真摯に受け止め、排出される廃棄物がより自然環境や地域社会に優しい形で利用される方法を模索し、実現できるよう尽力していきます。

※ご紹介している取り組みは、ヤマナカで実施している取り組みの一例です。



1 フランテ全店

リサイクル堆肥を利用した野菜の販売



JAなごや大高様の管内では、様々な種類の農作物が栽培されていますが、その中で食品廃棄物をリサイクルして作られた肥料を使用してブロッコリーを育成しています。環境に配慮し、大切に育てられたブロッコリーは、冬季にヤマナカのフランテ各店の店頭にならび「おかえりやさい」として販売しています。



2 名古屋市内店舗および一部近隣地区








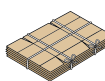
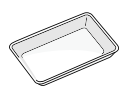

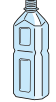
野菜くずなどの食品廃棄物を堆肥へリサイクル



名古屋市内の店舗およびしおなぎ生鮮センターから排出される野菜くずや生ごみなどの食品廃棄物は、株式会社熊本清掃社様のバイオプラザなごや（名古屋市港区）において堆肥へリサイクルされています。



【 回収された資源の行方 】 ※ヤマナカで行っているリサイクルの一例

店舗から排出される資源						お客様にお持		
魚のアラ  ↓ 魚餌化 	牛豚の脂  ↓ ペットフード・油脂原料 	食用廃油  ↓ バイオ燃料・油脂 	一斗缶  ↓ スチール缶 	雑紙  ↓ 再生紙 	ダンボール  ↓ ダンボール 	発泡トレイ  ↓ 発泡トレイ 	透明トレイ  ↓ 食品トレイ 	ペットボトル  ↓ 透明トレイ 

おかえりやさい とは？

「おかえりやさい」は、名古屋市のスーパーマーケットやレストラン、学校給食などから排出される生ごみ（食品循環資源）を堆肥化し、それを使って名古屋市や近郊の農家で作られる野菜です。名古屋市のごみの削減や地産地消によるフードマイレージの低下、生育時の化学肥料や農薬の減少が期待できる農作物でもあります。おかえりやさいプロジェクトは、名古屋市第4次一般廃棄物処理計画策定の際に、市民提案を行うために集った名古屋市民を母体とし、2008年2月に発足しました。この取り組みは、2014年にグッドライフアワードにおいて環境大臣賞グッドライフ特別賞、2016年に愛知環境賞中日新聞社賞を受賞しています。



3 名古屋市内店舗

ご家庭の使用済み 天ぷら油のリサイクル

名古屋市内20店舗では、市と協同でお客様からご家庭の食用油を回収させていただいています。回収した食用油は精製事業者によりバイオディーゼル燃料（軽油代替燃料）に精製され、名古屋市のごみ収集車および市バスで使用されています。



4 西三河地区店舗

野菜くずなどの食品廃棄物を 飼料へリサイクル

西尾市や碧南市、安城市などの店舗では、回収された食品廃棄物を株式会社朋栄社様においてリサイクルしています。食品廃棄物はリサイクル施設へ収集され、真空減圧乾燥処理をして、エコフィード（リサイクル飼料）を作成。地元の養豚業者の方々に使用され、生産された豚肉は学校給食などに使用されています。



5 ヤマナカ各店

福祉施設と協働で実施する 発泡スチロールのリサイクル

当社から排出される発泡スチロール製容器を知的障がい者福祉施設に有償で回収していただき、破碎・減容してペレット化し、それを食品容器メーカーに販売することによってリサイクルを行う仕組みです。社会福祉法人さつき福祉会様の「エコラ東海」をはじめ、愛知県内の6カ所の福祉施設にも容器の回収・破碎に協力していただき、現在60店舗（2018年3月時点）としおなぎ生鮮センターでこのリサイクルシステムに取り組んでいます。



6 豊橋市内店舗

食品廃棄物をバイオマスエネルギーへ リサイクル

豊橋市内店舗から排出された野菜くずなどの食品廃棄物は収集業者に回収され、バイオマス燃料の生成に利用されています。豊橋市では、2017年10月にバイオマス利活用センターが稼働し、事業系のほかにも家庭から分別して排出される生ごみ、下水汚泥、し尿・浄化槽汚泥を合わせてバイオマスとして利活用しています。バイオマスは、ガス発電と炭化燃料化の組み合わせにより、全量がエネルギー化されています。



です。】

ちいただいた資源

ペットボトル
キャップ



プラスチック
製品



アルミ缶



アルミ缶



牛乳パック



トイレット
ペーパー



総務部環境推進室長
市川 浩二

日本でまだ食べられるのに捨てられる食品は年間621万トン、これは国内のお米年間生産高740万トンに匹敵し、世界中の食糧援助量320万トンの2倍という量です。また、物資の生産、廃棄物の収集運搬や処理、リサイクルには膨大なエネルギーが使われます。今世界の潮流はリサイクルからリデュース（ゴミを生み出さない）、リユース（物を捨てずに使い続ける）へと変わっています。ヤマナカでは商品の売り切りや包装資材の減量などにより、今後とも廃棄物の削減に取り組んでまいります。

笑顔あふれる食品スーパーマーケットを極め、東海地区

プライベートブランド (PB) 商品

ヤマナカでは、おいしさ・機能性にこだわりながら、お求めやすい価格で提供する「うれしいヤマナカ」と、味や産地・製法など付加価値のある品質にこだわった商品をお手ごろな価格で提供する「おいしいヤマナカ」の2ブランドを展開しています。品質の良い、安全安心な商品の開発をめざし、現在では食品から日用雑貨まで約150品目を販売しています。



地産商品の販売

各店舗において、近隣で収穫された農産物、水揚げされた水産物、さらに愛知県内の生産者によって飼育されたヤマナカのPB商品「尾張牛プレミアム」「みかわ旨香ポーク」を取り扱っています。店舗によっては特設コーナーを設置し、地元産の食材の販売を積極的に行っています。



Voice 社員の声

商品部 農産担当バイヤー 野村 翔吾

「地場野菜コーナー」では各店舗近隣の生産者の方々から商品を直接納品していただいたり、また地方市場を活用して、愛知・三重・岐阜の野菜・果物の販売に取り組んでいます。地元ならではの新鮮な野菜・果物も販売しています。また、「おかえりやさい」として販売しているJAなごや様のプロックローは、家庭やスーパーから排出される生ごみを堆肥にし、堆肥で育てた野菜です。このような形で地産商品の販売に積極的に取り組んでいます。

消費者ニーズに対応した品ぞろえ

昨今の消費者ニーズに対応し、簡便・健康・おつまみなどをテーマにした品ぞろえの充実・強化に取り組んでいます。カット野菜や骨取り魚切身、温めるだけ・焼くだけの簡便商品の品揃えを強化し、お客様にご利用いただきやすい商品の提供に心がけています。また、2017年度から椋山女学園大学生活科学部管理栄養学科の学生とコラボレーションして期間ごとに新しいレシピを募集して「カラダよろこび弁当」を開発し、商品化して販売しています。





No.1の誇れる企業を目指して

グラッチェカード・グラッチェプラスカード

ヤマナカのポイントカード、グラッチェカードにさらに電子マネー機能が付いたグラッチェプラスカードを導入し、お客様にご利用いただいています。ポイントをためる機能に加え、お買物券のプレゼントやお誕生日時のポイントのプレゼント、また各種イベントへの応募などにご利用いただけます。さらに、毎月5のつく日は「シニアいきいきデー」、毎月7のつく日は「キッズデー」を実施し、シニアのお客様や小さいお子様のみえるお客様の暮らしを応援しています。



グラッチェプラスカード

宅配サービス

ヤマナカでは、一部店舗にて宅配サービス『喜くばり本舗』を展開しています。「雨が降って買物に行くのが大変」「重いものが持てない」、そんなお客様のお悩みを解決します。自宅にいながらお店の商品を電話で注文するだけで、当日または翌日にご自宅へお届けします。一部店舗ではネットスーパーも始めました。



喜くばり本舗実施店舗 (2018年3月現在)

庄内通店、松原店、安田店、常滑青海店、西尾寄住店、西枇フランテ館、アスティ店、小田井店、瑞穂店、八田フランテ館、則武店、東海店



クッキングさぼ〜と

「今日の夕飯は何にしよう。」「このお魚、もっとおいしい食べ方はあるの?」クッキングさぼ〜とでは、そんな主婦の悩みを解決します。各店舗担当者が、毎日おすすめの日替わりレシピをご提案しています。主婦の知恵を存分に活かしたおすすめレシピをご紹介します。店頭では、担当者の想いが込められた手書きレシピもご用意しています。

今日のおすすめメニュー
料理名 **ふくら美味いたこ飯**

材料 (2-3人分) 作り方

- ・むしたこ 150-200g
- ・しょうゆ 大さじ2
- ・塩 大さじ1
- ・米 2合
- ・刻みネギ お好み

①米2合、ほろい番塩の水がけ炊きしめる。
②たこは、しょうゆ15ccのぶつかりにする。
③しょうゆ、塩、米、たこを混ぜ合わせる。
④の米は、塩こんぶ、②のたこをしょうゆで煮しめ、軽く混ぜ合わせる。
⑤炊き上がった米、刻みネギ、しょうゆ、たこを混ぜ合わせる。
⑥しょうゆ、たこ、刻みネギを混ぜ合わせる。

★しょうゆ、たこ、刻みネギを混ぜ合わせる。くらに垂らすと美味しい! Yamanaka



Voice 社員の声

白土フランテ館 クッキングさぼ〜と一同

白土フランテ館クッキングさぼ〜とは、接客大好き笑顔自慢の8人です。開設して3年、自作の呼び込みCDや担当者の笑顔のPOPを作り、お客様をお迎えています。お客様の声BOXの設置では、ご意見・ご要望をお聞きして週1回のミーティングで話し合い、お店作りに活かしています。美味しい料理と笑顔で幸せを届けます。

お客様に快適なお買物をしていただくために



お客様に快適で
便利なお買物をして
いただくために、店舗の各所に
おいて様々な取り組みを実施しています。

① 身障者用駐車場

車いすをご利用の方やお体の不自由な方にご利用いただける専用駐車場です。



② 補助犬の受け入れ

店頭「ほじょ犬」ステッカーを掲示し、身障者の方の生活をサポートするパートナーである補助犬の受け入れを示しています。



③ 介添え希望インターホンの設置

介添えご希望のお客様には、出入り口に設置してあるインターホンにて対応させていただきます。



④ 車いすの貸し出し

お買物時にご利用いただける車いすを無料で貸し出しています。



⑤ 保冷用氷・ドライアイスの設置

お買い上げいただいた商品を品質を保って持ち帰りできるよう、氷・ドライアイスをご用意しています。



⑥ 休憩コーナー

店内でお買い上げいただいた商品のご飲食や、休憩にご利用いただけます。



⑦ セルフ精算レジの導入

商品の登録や精算をお客様ご自身で行っていただくセルフ精算レジを順次導入し、会計時間の短縮を図っています。



⑧ AED(自動体外式除細動器)の設置

店舗をご利用される方の方が一の事態に備え、一部の店舗においてAEDを設置しています。



■ お客様とともに

◆ 食の安心・安全への取り組み

衛生管理

ヤマナカではお客様に安心・安全で高品質な商品を提供するため、様々な衛生管理の取り組みを行っています。自社で定期的に店頭の商品や調理器具などの微生物検査を実施し、適正な衛生状態が保たれているかのチェックを抜き打ちで行っています。また、毎年クリーンキャンペーンを実施し、第三者の目で衛生・安全面の不具合がないかのチェックをしています。店舗では毎日温度管理や陳列商品のチェックを行い、衛生的な売場環境の維持に努めています。



しおなぎ生鮮センター

鮮魚や精肉を加工するしおなぎ生鮮センターでは開設時から厳しい品質・衛生管理の取り組みを実施し、2012年4月に食品安全・品質管理の国際規格であるSQF認証を取得しました。また2015年7月には自主的な衛生管理が認められ、名古屋市より自主管理認定を受けました。いずれの認証につきましても、継続して認証を更新しています。



トレーサビリティシステム

ヤマナカでは牛肉製品のトレーサビリティシステムの構築によって、お客様に安心して商品をお買い求めいただけるよう取り組んでいます。当社のホームページから、国産牛肉商品のラベルに表示されている14ケタもしくは15ケタの「ロット番号」または10ケタの「個体識別番号」を入力することで、牛が生まれてから店頭までまでの生産・流通履歴を調べることができます。



◆ お客様の声を取り入れる仕組み

ヤマナカではお客様からの声を取り入れる仕組みとして、各店舗にご意見箱を設置しています。また、本社にはお客様相談窓口を設け、当社全体に対するご意見・ご要望および店舗へ直接お問い合わせいただきにくい内容などに対してお電話で対応させていただいています。

お客様からいただいた貴重なご意見やご要望は真摯に受け止め、関係部署へフィードバックし、できる限りお客様のご要望にお応えできるように努めていきます。



商品に関する件	鮮度、品質、異物混入、量目不足など
販売に関する件	商品表示方法、売価違い、商品取り扱い要望など
店舗に関する件	店内設備、店外設備、清掃状況など
従業員に関する件	レジ操作、対応方法、接客態度など

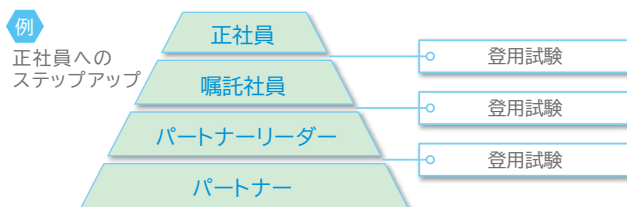
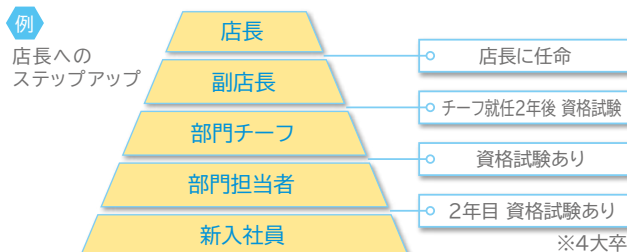
■ 従業員とともに

◆ 人財育成

キャリアステップ

ヤマナカでは、社員やパートナーのキャリアアップを目的に、様々な教育や研修を実施しています。社員は入社後、社内試験で昇格を目指し、ステップ段階に応じた研修や勉強会でさらに能力を高め、将来の店長などを目指します。

パートナーもリーダー登用から、嘱託社員を経て、社員登用の制度もあり、ヤマナカで働くすべての従業員にキャリアアップを目指す体制が整っています。また、社内資格試験において必須要件となる公的資格（日商簿記3級や、第二種衛生管理者、甲種防火管理者など）の取得にかかる費用も、会社負担で行っており、それぞれの担当職務に必要な資格の整備も行っています。



社内研修会

ヤマナカが掲げる「中期3カ年計画」のビジョン達成のための経営課題であります「働き甲斐のある職場づくり」推進のため、職場で働く人財育成にむけた様々な研修会・塾を開催しています。

店長、副店長を対象とした「店長塾」では、店長マネジメントのスキルアップ、次期店長の育成を主な目的とした研修を実施、また「チーフ研修」では、マネジメントの基礎能力の修得を目的とした研修を実施しています。その他にも、社外講師を招いて「コーチング研修」なども実施しています。



チェッカーフェスティバル・接客コンテスト

ヤマナカでは、お客様に接客に対しての満足度・信頼度を高めていただけるよう、お客様視点に立った『感じの良い』接客を目指し、日頃の業務の質の向上のために、接客技術の共通認識・向上を目的としたチェッカーフェスティバル・接客コンテストを開催しています。もっとも優秀なチェッカーは、オール日本スーパーマーケット協会が主催するチェッカーフェスティバルにヤマナカ代表として出場しています。2017年度は、当社の中村多恵子が代表として出場し、敢闘賞を受賞しました。



◆自己啓発サポート

ヤマナカでは、オール日本スーパーマーケット協会が行う通信教育の受講費用について補助を実施しています。会社指定の講座を受講終了した場合、受講料の全額支給も行っています。講座も担当業務に関わらず、自己啓発に向けた講座も多数あり、受講することができます。



◆ワークライフバランス

女性活躍推進法への取り組み

2016年4月1日に女性活躍推進法が施行され、ヤマナカも行動計画を作成し、目標を立て、取り組んでいます。ヤマナカでは女性従業員が多く、女性が活躍することで更なる当社の成長につなげ、また、やりがいと誇りを持つことのできる働き甲斐のある職場を目指しています。

あいち女性輝きカンパニー認証

働きがいのある職場づくりを目指すトップの意思表示や女性の管理職登用、仕事と家庭の両立支援など、女性の活躍推進に向けての取り組みを行っている企業として、愛知県に認証されました。



育児・介護休業等に関する制度の一例

育児に関する制度

- 育児休業
- 短時間勤務
- 妻の出産休暇(ヤマナカ独自)
- 短期育児休暇(ヤマナカ独自)
- 子の看護休暇
- 所定外労働、時間外労働、深夜業の制限

介護に関する制度

- 介護休業
- 介護休暇
- 短時間勤務
- 所定外労働、時間外労働、深夜業の制限

◆安全衛生への取り組み

職場での労働災害を防止するため、ヤマナカでは労働安全衛生法に基づき、店舗および本社において毎月1回安全衛生委員会のミーティングを実施しています。その中で労働災害防止のための対応策を共通認識し、全従業員へ周知徹底を図っています。また、本部の各部署のメンバーで毎月1店舗を選定し、店舗の危険箇所を複数の目でチェックする取り組みも行っています。チェック内容は店舗へフィードバックされ、作業環境の改善に役立っています。

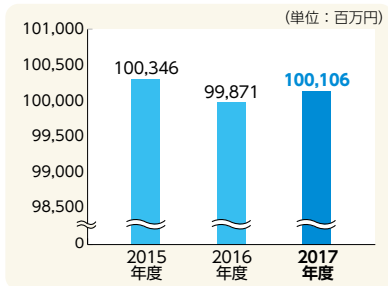


■ 株主とともに

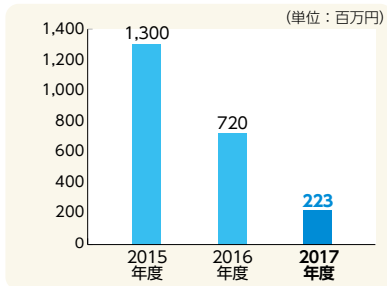
◆ 業績

2018年3月期の連結会計年度における経営成績は、売上高に営業収入を加えた営業収益は1,001億6百万円（前期比0.2%増）、営業利益は1億12百万円（前期比82.1%減）、経常利益は2億23百万円（前期比69.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は86百万円（前期比82.1%減）となりました。

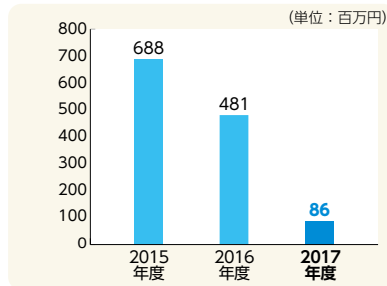
◎営業収益3期比推移



◎経常利益3期比推移



◎当期純利益3期比推移



◆ 株主総会

会社の最高意思決定機関である株主総会を、2018年6月13日（水）午前10時より、名古屋市東区葵三丁目16番16号「ホテルメルパルクNAGOYA」にて開催しました。映像機器を用いて事業報告のビジュアル化を実施するとともに、招集通知および決議通知をホームページに掲載しています。

◆ 株主優待

毎年3月20日時点において100株以上所有の株主様を対象として、毎年5月下旬に所有株式数に応じて自社取扱商品をお届けしています。

2017年度は100株以上1,000株未満所有の株主様へは自社取扱商品（1,500円相当）、1,000株以上所有の株主様へは自社取扱商品（3,500円相当）をお届けしました。



■ サプライヤーとともに

◆ ヤマナカ会

ヤマナカでは、お取引先企業様との関係強化を図ることを目的にヤマナカ会を発足し、2018年3月20日現在、284社の企業様にご入会いただいています。今期は、会員企業様へ当社の経営政策などをご報告する「平成30年度ヤマナカ会総会」を2018年5月23日（水）午後2時30分より、名古屋市東区葵三丁目16番16号「ホテルメルパルクNAGOYA」にて約500名の方にご出席いただき開催いたしました。総会の中では、当社の売上に貢献いただいた企業様・個人様への表彰も行い、日頃の感謝をお伝えさせていただきました。今後も、多くのお取引先企業様とより良い関係を築き、ヤマナカをご利用いただく皆様により良い商品を提供できるよう努力していきます。



地域社会とともに



◆食やスポーツを通じたイベントの開催

ヤマナカでは店頭での食の提案や販売だけでなく、地域の子どもの体力向上や健全な精神の育成、食育活動などを目的とし、マラソン大会やお米作り体験などの各種イベントを毎年開催しています。

2017年度は、2017年5月にJAあいち経済連様と共同でお米作りを体験するイベントを開催しました。抽選で21組65名をご招待し、お米についての食育教室や、親子で協力して楽しく田植を体験していただきました。

また、2018年1月には愛・地球博記念公園にて、第28回となるマラソン大会を多くの企業様のご協力のもと開催しました。小学生約1,000名が参加し、元気良くのびのびとマラソンを楽しみました。



◆募金活動

ヤマナカでは全店に募金箱を設置し、皆様からご協力いただきました募金を全額「(財)東海交通遺児を励ます会」へ寄贈させていただいています。

また、地震や台風など災害に見舞われた方々への募金も募らせていただくこともあります。2017年度は九州北部豪雨災害で被害にあわれた方への募金活動を実施し、お預かりした募金は日本赤十字社愛知支部へ寄託しました。皆様の善意に感謝するとともに、ヤマナカは今後も、募金活動を通して助けが必要なたくさんの方々の応援をしていきます。



◆小中学生の職場体験

ヤマナカでは、地域の子ども達に社会勉強の場を提供するために、店舗見学や職場体験の受け入れを行っています。店舗見学ではスーパーマーケットの仕組みや流れを説明し、職場体験では実際にスーパーマーケットの作業を体験してもらっています。今後もこうした活動を通して、地域の子ども達の食育や社会勉強に貢献していきたいと思っております。

◆認知症サポーター養成講座の受講

2017年度にはリニューアルオープンした東海店、および新規オープンした滝ノ水店の従業員が認知症サポーター養成講座を受講しました。

急速な高齢化の進行に伴い、今後、認知症高齢者の大幅な増加が見込まれており、認知症のお客様のご来店も多くなってくると予想されます。従業員一人ひとりが、認知症のお客様に対して自分に何が出来るかを考えてサポートできるよう、このような取組みに積極的に参加し、地域の皆様と連携し、どなたでも安心してご来店いただけるお店をつくりたいと思っております。



環境活動データ

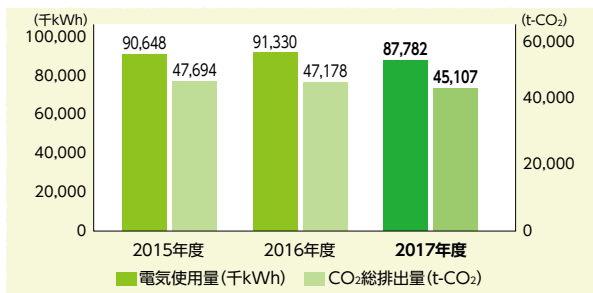
◆ヤマナカ環境方針

ヤマナカでは、自然環境や貴重な資源を利用して営業活動を行っていることに対して真摯に向き合い、持続可能な環境対策を行うべく、様々な取り組みを行っています。

- 1 社員の環境への貢献意識を高める
- 2 環境に優しい商品を積極的に販売する
- 3 環境に優しい資材・備品を購入する
- 4 家庭ごみの減量に貢献する
- 5 ヤマナカから出るごみの減量に努める
- 6 省エネ設備を導入する

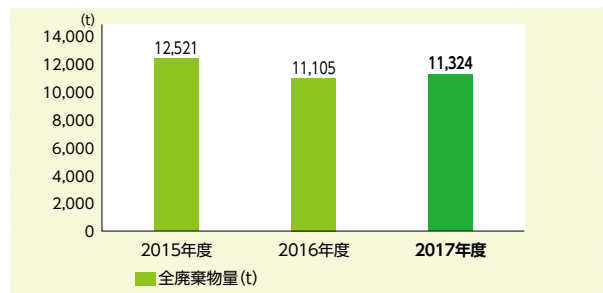
◆環境データ

◎電気使用量およびCO₂総排出量の推移



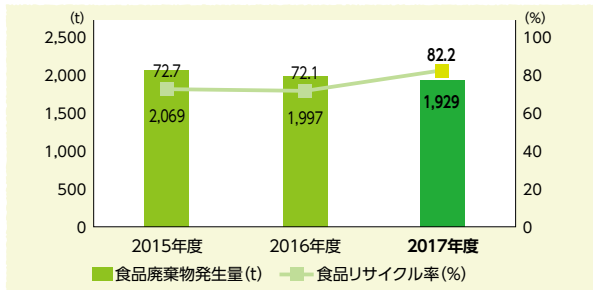
2017年度はエネルギー使用原単位前年度比1.0%削減を目標に掲げて取り組みましたが、前年度から1.0%の増加となりました。

◎全廃棄物量の推移



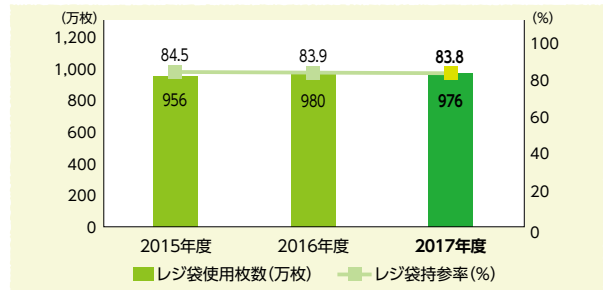
リサイクル、非リサイクルを合わせた全廃棄物量は前年度比1.0%減を目標に掲げて取り組みましたが、前年度から2.0%増加しました。

◎食品廃棄物発生量および食品リサイクル率の推移



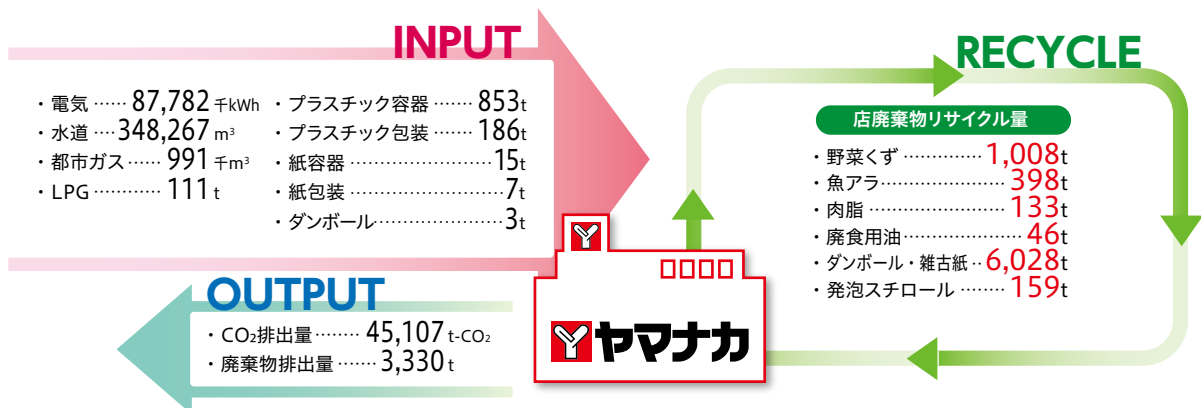
豊橋市バイオマス活用センターが稼働した豊橋地区店舗をはじめ、食品リサイクル未実施店舗でのリサイクル開始により、食品リサイクル率が向上しました。

◎レジ袋使用枚数およびレジ袋持参率の推移



お客様のご協力のもと、レジ袋使用枚数は0.4%削減となりました。レジ袋持参率は80.0%以上を目標としています。

◆事業活動における環境負荷



省エネルギーの取り組み



限りある資源を有効活用するために、ヤマナカでは省エネルギー活動に積極的に取り組んできました。

◆設備面での省エネ

冷蔵・冷凍機器設備の更新

店舗全体の電気使用量の約6割を占める冷蔵・冷凍機設備を、改装店を中心に順次更新し、冷却効率を高めて電気使用量の削減に努めています。更新された設備はコンプレッサーのインバーター制御、省エネタイプのファンモーター装備、棚下照明のLED化などにより、従来品と比較して大幅に消費電力を削減することができます。



店舗照明のLED化

店舗天井照明を、従来型の照明機器からより長寿命・高効率なLED照明へと交換しています。また、天井照明だけでなく、冷蔵オープンケースの棚下照明のLED化も同時に進めています。



冷却効率の良い冷凍ショーケースの導入

外気の影響を受けにくい、扉付きの内蔵ショーケースを導入することにより、消費電力の軽減を図っています。



社有車をエコカーに

2014年より、業務使用車のエコカーへの変更を順次行っています。2018年3月現在までに、合計64台のエコカーを導入しました。



◆配送による省エネ

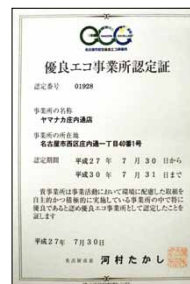
店舗に納品される商品は、まず取引先様から東海市にある物流センターへ集められ、仕分けされた後に各個店ごとに配送されます。商品や作業を1カ所に集約することにより、配送効率の向上や運行車両台数の集約、運行距離の短縮に努めています。また、センターからの商品配送の際には繰り返し利用できる専用の通箱を使用し、ダンボール使用量の削減にも取り組んでいます。



行政からの認定

ヤマナカでは、2012年に「あいちCO₂削減マニフェスト2020」に環境保全に対する取り組みを宣言して以降、宣言内容に沿って地道に取り組んできました。2015年度にはその取り組み実績が認められ、トリプルスターに認定されました。トリプルスターは愛知県内でも23社（2018年6月時点）しか認定されていない、あいちCO₂削減マニフェスト2020の最高ランクです。

また、ヤマナカの名古屋市内の全店舗は名古屋市より優良エコ事業所の認定を受けています。





◆従業員による省エネ

デマンドコントロール

店舗での電気使用量はリアルタイムで監視され、使用量が目標上限デマンド値を超える場合には、各従業員があらかじめ決めておいた電気機器や照明の電源を落とすなどの節電対策を実施します。また、日常的に無駄な電気を使わないよう教育を実施しています。



ナイトカバーの使用

閉店後、冷蔵および冷凍のオープンケースにはナイトカバーの使用を徹底しています。冷気が漏れることによる品質の低下や使用電力の増加を防いでいます。



ロードラインの遵守

冷蔵・冷凍ケースに商品を過剰に積むと、冷蔵・冷凍効率が下がり電気の無駄遣いにつながります。適正な陳列量を守ることで、効率的な温度管理を図っています。



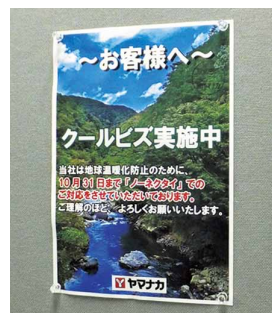
ライトダウン、クール・ウォームシェアスポット活動への参加

ヤマナカでは行政の呼びかけで実施されている取り組みに参加し、お客様とともに環境活動を実施しています。

ライトダウンキャンペーンにおきましては、夏至の日と七夕の日に独立広告塔の消灯を行いました。また、豊橋市の一部店舗ではお客様がご家庭でエアコンを使用される代わりに店舗で快適に過ごせるよう、クールシェアスポットおよびウォームシェアスポットの提供を続けています。またヤマナカでは5月1日より10月31日をクールビズ実施期間とし、ノーネクタイで業務を実施しています。



ライトダウンの実施



クールビズの実施

紙使用量の削減

印刷にかかるコストが一目でわかるようポスターを作成し、コピー機の近くに掲示することで、コストに対する意識を向上しています。また毎月の印刷代を集計して増減を検証したり、本社においてはコピー用紙の持出し数量を部署ごとに記録することで、削減活動をより効果的なものになるよう、努めています。



■ 廃棄物削減・リサイクルの取り組み

ヤマナカでは3R (Reduce:発生抑制、Reuse:再使用、Recycle:再資源化) に基づき、地球環境保全に取り組んでいます。

ノントレー包装の使用

一部店舗では鶏肉をトレーを使わない袋売り形態で販売しています。包装資材の使用の減少や、お客様が持ち帰る際にかさばらないなどの効果が期待できます。



ばら売り販売の実施

ヤマナカでは、お客様に必要な量だけ買い求めいただけるようばら売り販売を推進し、容器使用量の削減や食品ロスの削減に努めています。



◆ 食品リサイクル

調理の際に発生する野菜くずや魚のアラ、牛肉・豚肉の脂、廃食用油などは、有用な資源として肥料や飼料、油脂としてリサイクルされています。当社でも食品廃棄物の有効利用に積極的に取り組んでおり、2017年度は食品廃棄物のうち82.2%をリサイクルしました。当社では「おかえりやさいプロジェクト」の事業者メンバーとして、堆肥の原料となる野菜くずの分別と、その堆肥を使って生産されたブロッコリーの販売を行っています。また、「おかえりやさいプロジェクト」主催のリサイクルループを巡るツアーでは、参加者の方にヤマナカのバックヤードやおかえりやさいの売場を見学いただいています。また「生ごみ出さないプロジェクト」にも参加し、家庭から排出される食品廃棄物を減らすために、販売者としてできることを市民の皆様とともに考え、活動しています。



◆ お客様とともに実施するリサイクル活動

リサイクルステーション

家庭から出るペットボトル・アルミ缶・新聞紙・衣類などの資源ごみを回収するリサイクルステーションを、一部店舗において設置しています。グラッチェカードのポイントに交換できるエコポイントを導入することで、地域のリサイクル活動と地球環境保全活動を推進します。

2017年度リサイクルステーション回収実績

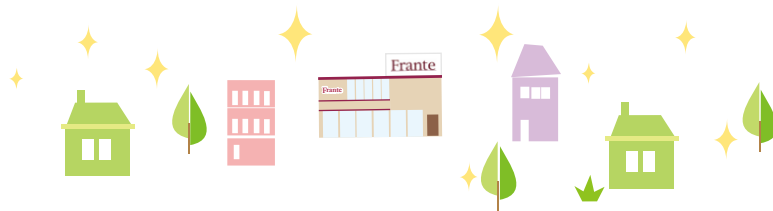
ペットボトル	143,769kg	古紙	1,439,062kg
アルミ缶	43,477kg	古着	21,483kg

※衣類の回収は2017年6月30日で終了



リサイクルステーション設置店舗 (2018年3月時点)

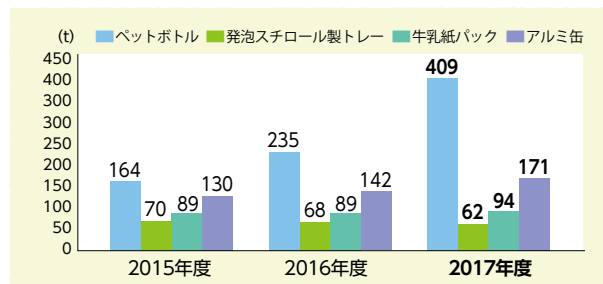
アルテ津新町、新中島フランテ館、松原店、滝ノ水店、白土フランテ館、一宮フランテ館、神守店、三郷店、味美店、共栄店、知多店、陽なたの丘店、東海店、高横須賀店、西尾寄住店、西尾下町店、豊橋フランテ館、二川店、汐田フランテ館



◆資源の店頭回収

ヤマナカではお客様とともに環境活動として、各店舗の店頭においてペットボトル、発泡スチロール製トレー、牛乳紙パック、アルミ缶などの資源回収を行っています。回収したペットボトル、発泡スチロール製トレーなどは繊維やトレーの原料などにリサイクルされています。また、2013年度からは新たに透明トレーの回収も一部店舗で始めました。また、名古屋市内20店舗では、市と協同でお客様からご家庭の使用済み食用油を回収させていただいています。

店頭回収資源の推移



※リサイクルステーション回収分も含んでいます。
※ペットボトル回収業者の変更により、回収量の算出方法を変更しました。

◆レジ袋無料配布中止の取り組み

ヤマナカでは、2007年に名古屋市のモデル事業に参加したのを皮切りに、レジ袋の無料配布中止を進めてきました。2017年度までに65店舗が無料配布を中止し、お客様のご協力のもと、レジ袋持参率は83.8%まで上昇しました。なお、有料レジ袋の販売による収益金は全額地域の自治体などに寄付され、環境活動に活用されています。2017年度は3,937,509円の収益金を寄付いたしました。

ヤマナカ店舗レジ袋無料配布中止の経緯

開始年月日	地域
(2003年10月)	(名古屋エコクーびょん導入)
2007年10月1日	名古屋市緑区の白土フランテ館で初実施
2008年3月25日	瀬戸市
2008年4月1日	豊田市
2008年6月25日	安城市
2008年9月1日	江南市、鈴鹿市、岐阜市
2008年10月1日	大府市、東海市、知多市、一宮市、多治見市
2008年10月4日	名古屋市東部7区
2009年2月2日	西尾市
2009年3月1日	岡崎市
2009年4月1日	春日井市、清須市、尾張旭市、蒲郡市、豊川市、田原市、津市
2009年4月4日	名古屋市西部8区
2010年2月1日	碧南市、高浜市
2010年4月1日	四日市市
2011年3月1日	弥富市
2013年4月1日	豊橋市

寄付先	金額
2R推進実行委員会	1,730,543円
安城市レジ袋削減推進協議会	112,067円
鈴鹿市・亀山市レジ袋削減・マイバッグ合同推進会議	35,636円
一宮市	83,589円
瀬戸市環境パートナーシップ事業者会議	47,551円
尾張旭市緑化推進基金	40,698円
ごみ減量リサイクル推進協議会(四日市市、朝日町、川越町)	47,728円
豊田市低炭素社会推進基金	65,333円
江南市レジ袋削減推進委員会	39,667円
豊橋市環境活動振興基金	428,149円
西尾いきものふれあいの里指定寄付金	128,550円
特定非営利活動法人エコデザイン市民社会フォーラム	1,177,998円
合計	3,937,509円



豊橋市 530運動



西尾市 貸し出し用図書

■ マネジメント

◆ コーポレートガバナンス

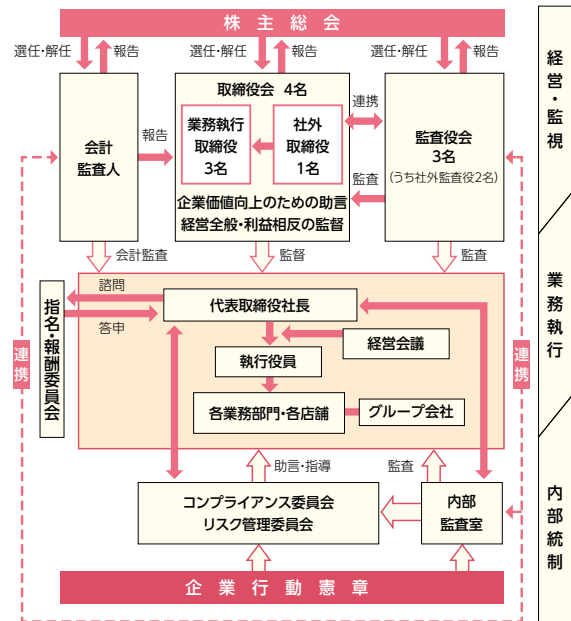
コーポレートガバナンス体制（2018年6月現在）

ヤマナカは、監査役会設置会社であります。当社は、法定の機関として、株主総会、取締役会、監査役会および会計監査人を設置しております。取締役会は社外取締役1名を含む取締役4名で構成し、業務執行につきましては、取締役会が法令および定款に則って重要な業務執行を決定し、取締役会で定められた担当および職務の分担に従い、職務を執行しております。

なお、取締役会は取締役会規程に基づき、毎月1回定例的に開催するほか必要に応じて随時開催し、経営に係る重要事項の決定および相互に取締役の職務執行の監督をしております。

さらに、取締役会の少人数化による意思決定の迅速化および監督機能の強化、責任と権限の明確化による経営計画の実行体制の強化および次期経営陣の育成を目的として、2018年6月13日より執行役員制度を導入し、業務執行取締役は執行役員を兼務しております。

監査役会は社外監査役2名を含む監査役3名で構成し、監査方針および監査計画に従い取締役会のほか重要な会議に出席するとともに、毎月1回監査役会を開催しております。監査役は取締役との面談を行うとともに、社外取締役と相互の意思疎通を図るため定期的に意見交換を実施しております。また会計監査人および内部監査室とも定期的に意見交換を実施しております。



内部統制

取締役の職務執行が法令および定款に適合することならびに業務の適正を確保することにより、法令・定款・社内規則・モラルに反する不正や事故が発生しないよう、内部統制システムの整備・運用に取り組んでいます。ヤマナカは内部統制システムの構築により、企業不祥事を未然防止する体制を整え、健全な企業経営の継続を目指しています。

◆ コンプライアンス

コンプライアンスに関する基本方針

会社法をはじめ、労働関係法令や個人情報保護法といった幅広い法令の理解を促進し、それらに基づいた社内倫理の確立と、企業の社会的責任（CSR）を経営そのものに浸透させるため、コンプライアンスに関する取り組みを進めています。

コンプライアンス教育

毎期初において、年度の「コンプライアンスプログラム」および「リスク管理プログラム」を策定し、それに基づいて役員および全従業員を対象としたコンプライアンス教育を実施しています。

2017年度の全社コンプライアンス教育項目は以下の通りです。

- 食品ロスを減らそう
- 労災事故の防止
- パートナー就業規則について





内部通報相談窓口

従業員がその能力を十分に発揮しうる健全な職場環境を確保するために、社内に3カ所、社外に1カ所の内部通報相談窓口を設置しています。通報・相談方法として、電話、電子メール、書面、FAX、面会などさまざまなツールを用意して便宜性を提供するとともに、通報・相談者自身の保護はもとより、その内容や調査で得られた情報などについても保護しています。

◆リスクマネジメント

ヤマナカは、リスク管理基本規程を定め、担当取締役を委員長としたリスク管理委員会を定期開催し、総合的なリスク管理体制と横断的な予防体制の整備を実施しています。

また、事業活動に伴う固有のリスクについては、部署またはグループ企業各社のリスク責任者を中心に評価・対応を行い、グループ全般に係るリスクについてはリスク管理委員会に対応しています。さらに緊急事態に備えて事業継続計画（BCP）を策定し、重要業務の中断による業績・信用低下のリスク軽減を図っています。

個人情報保護方針

ヤマナカは、業務において利用するお客様の個人情報について、個人情報保護に関する法令、その他の規範を遵守し、自主的な管理ルールと体制を確立して取り組むことを定めています。

基本方針

株式会社ヤマナカは、「お客様の支持を高めることがわれわれの生きがいであり唯一の成長の道である」という経営理念のもと、個人情報の保護は重要な責務であると考えております。

当社は、社会に貢献できる企業であるよう、組織体制と管理ルールを確立し、個人情報保護の取組みを遂行してまいります。

個人情報の取り扱いに関する安全宣言

- (1) 当社は、個人情報保護に関する法令およびその他規範を遵守いたします。
- (2) 当社は、個人情報を厳密に管理・運用していくために組織体制を整備し、継続的な教育等の実施により情報管理体制の充実を図ります。
- (3) 当社は、適切かつ合理的な安全対策を講じ、不正アクセス、漏えい、改ざん、紛失などの未然防止および再発防止を図ります。
- (4) 当社が個人情報の取扱いを外部に委託する際は、委託先を厳選し、安全管理ならびに秘密保持を徹底いたします。
- (5) 当社は、お客様からご自身の情報についてお問合せを受けた場合は、合理的かつ適切に対応いたします。
- (6) 当社は、上記の各項目について有効かつ適正に運用されるよう適宜見直し、継続的改善を図ります。

防災訓練

2017年度は2部制で行い、第1部ではJアラートの発動対応訓練、第2部では緊急対策本部設置初動対応訓練を実施しました。

Jアラートの発動対応訓練では、Jアラート緊急避難情報が発動された時の本部従業員の初動対応、役割、行動訓練を実施するとともに、店舗においても緊急避難情報が発令されたとの想定で避難訓練を実施しました。緊急対策本部設置初動対応訓練では、大地震が発生したとの想定で緊急対策本部を立ち上げ、各部室長が緊急対策本部組織・役割図に基づき行動する訓練を行いました。

ヤマナカでは、BCPの実効性向上のため、毎年本社・本部において綿密な防災訓練を行っています。



グループ会社紹介

◆ 株式会社アイビー ◆

花の加工、流通、ヤマナカ店舗内等のフラワーショップを通じて、お客様の手元に元気で素敵な花とグリーンをお届けしています。
お花が持っている脈々と力強い生命力と凛とした姿、つまり「お花の魅力」を大切にして、もっともっとお客様のお役に立てることを信条に努力いたします。



本 社 〒480-1103
愛知県長久手市岩作北山 38
設 立 1994年3月
資本金 6,000万円



◆ サンデイリー株式会社 ◆

豆腐、麺、納豆、蒟蒻、米飯類を製造しています。原料、素材は地産地消にこだわり、また豆腐工場は HACCP 認証を取得しています(豆腐工場では愛知県第1号)。2017年3月より工場を新設し、従来の赤飯、ちらし寿司などの米飯のみならず、焼そば、オムライスなどの軽食や弁当、井やおはぎまで「おいしさ」にこだわった新商品を製造しています。



本 社 〒446-0005
愛知県安城市宇頭茶屋町
南裏 81 番地 1
設 立 1978年5月
資本金 3,150万円



◆ プレミアムサポート株式会社 ◆

お客様の期待以上のサービスの提供を実現するという理念のもとに、スポーツ事業とメンテナンス事業を柱として展開しています。
スポーツ事業部ではアスティスポーツクラブを運営し、スポーツを通じて『皆様の健康づくりのサポート』をさせていただきます。
メンテナンス事業部は、店舗の清掃・管理のほか、個人のご家庭のハウスクリーニング、お庭の手入れをはじめ、修繕からリフォームに至るまで、住環境全般に渡るご用命にお応えいたします。



本 社 〒458-0024
愛知県名古屋市緑区尾崎山二丁目
103 番地
設 立 1987年5月11日
資本金 3,000万円





株式会社 ヤマナカ

〒461-8608 愛知県名古屋市東区葵三丁目15番31号
<http://www.super-yamanaka.co.jp>

お問合せ先 総務部環境推進室 TEL 052-937-9354

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

UD FONT
by MORISAWA